



衆議院議員 長島昭久 プロフィール

○住所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館510号室
〒183-0022 東京都府中市宮西町4-12-11 府中2F
TEL 042-319-2118 FAX 042-319-2119
HP <http://www.nagashima21.net>
Email info@nagashima21.net

○出身地 神奈川県横浜市 ○生年月日 1962年2月17日(寅年)

○家族 妻、娘2人 ○政党 自由民主党

○選挙区 東京30区(府中市・多摩市・稲城市)

主な役職

2003.12~2004.9	衆議院安全保障委員会理事、テロ防止・イラク支援特別委員会委員、武力攻撃事態への対処に関する特別委員会委員
2004.10~2005.8	拉致問題特別委員会理事、文部科学委員会委員
2005.9~2006.9	衆議院安全保障委員会筆頭理事
2009.3~2009.10	海賊対処ならびにテロ防止・協力支援特別委員会理事
2009.9~2010.9	防衛大臣政務官
2010.9~2011.9	衆議院外務委員会筆頭理事
2011.9~2012.9	内閣総理大臣補佐官(外交及び安全保障担当)
2012.9~2012.12	防衛副大臣
2015.1~2015.9	衆議院外務委員会委員、科学技術推進特別委員会委員、安保法制特別委員会委員
2016.9~2017.4	衆議院文部科学委員会筆頭理事
2017.4	民進党を離党し無所属となる
2017.11~2018.5	衆議院文部科学委員会委員
2018.10	衆議院会派「未来日本」を結成。衆議院安全保障委員会委員、憲法審査会委員
2019.6	自由民主党へ入党
2019.10~2021.10	衆議院安全保障委員会筆頭理事、憲法審査会委員
2020.01~2023.3	自由民主党東京都第十八選挙区支部 支部長
2021.10~2021.10	衆議院安全保障委員会委員長
2021.11~2022.10	衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長
2022.10~	衆議院東日本大震災復興特別委員会委員長、安全保障委員会委員
2023.3~	自由民主党東京都第三十選挙区支部 支部長就任

主要学歴

1984.3	慶應義塾大学法学部法律学科卒業、1986.3 同 政治学科卒業
1988.3	慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了(憲法学)
1997.5	米国ジョージ・タウンズ大学高等国際問題研究大学院(SAIS) 修士課程修了

職歴

1989.4~1992.3	東京文化短期大学非常勤講師(憲法学)
1990.2~1993.6	衆議院議員石原伸晃公設秘書
1992.7~1993.4	平成政策研究所主任研究員
1993.9~1995.4	米国ヴァンダービルト大学客員研究員
1997.8~1999.12	米国外交問題評議会研究員(日本人初・アジア安全保障研究)
2000.1~2000.12	同 上席研究員(非常勤)
2000.11~2001.10	東京財団(現:東京財団政策研究所)主任研究員
2003.1~2003.11	海上保安庁政策アドバイザー
2010.9~2014.3	慶應義塾大学法学部講師(非常勤)
2006.4~2017.6	中央大学大学院公共政策研究科 客員教授
2010.6~2019.9	日本スケート連盟副会長・国際部長兼任
2017.6~現在	日本スポーツ協会理事(~2023.6)、東京都銃剣道連盟会長
2019.9~現在	日本スケート連盟会長、東京都スケート連盟会長(2010.6~)

賞罰

第3回「読売論壇新人賞」最優秀賞(1997年)

選挙歴

2000.10	衆議院補欠選挙に敗北。落選翌朝から街頭演説、浪人生活3年間。
2003.11	第43回総選挙で衆議院初当選、
2005.9	第44回総選挙で衆議院2期目当選
2009.8	第45回総選挙で衆議院3期目当選、
2012.12	第46回総選挙で衆議院4期目当選
2014.12	第47回総選挙で衆議院5期目当選、
2017.10	第48回総選挙で衆議院6期目当選
2021.10	第49回総選挙で衆議院7期目当選

主要著作

『覚悟-さらば民進党、真の保守を目指すために』(ワニブックス、2017年6月)

『「活米」という流儀-外交・安全保障のリアリズム』(講談社、2013年10月)

『日米同盟の新しい設計図-変貌するアジアの米軍を見据えて-』(日本評論社、2002年、[第二版]2004年)

【共著】『国防の論点-日本人が知らない本当の国家危機』石破茂、森本敏との共著(PHP研究所、2007年)

【共著】『図解アメリカのしくみ-この国がわかれば明日の世界が見えてくる!』柳沢賢一郎(編著)(中経出版、1999年、[Version 2] 2002年)

【共著】『日米同盟-米国の戦略』マイケル・グリーン、パトリック・クローニン(編著)、川上高司(翻訳)(勁草書房、1999年8月)